



高貝慶隆
准教授

東京電力は五日、福島第一原発の廃炉作業の効率化に貢献したとして、福島大に感謝状を贈った。

東京電力

福島大に感謝状

第一原発廃炉効率化に貢献



贈呈式に臨んだ小野氏(左)と中井氏

による。原子力発電作業効率から一ヶ月程度かかった分析時間を三十分程度に短縮した。装置第一原発構内で活用され、二〇一四(平成二十六)年十二月から福島が福島大の中井勝己学長に感謝状を手渡し。高貝准教授が自動分析装置について説明し、「研究が実社会に役立つて非常に幸運だ。周囲の支援に感謝している」と述べた。福島大の内田広之理事長、二見亮弘共生システム理工学類長、東京電力の松本純一執行役員福島第一廃炉推進室長パニー・一廃炉推進室長、中山和夫福島第一原子力発電所ユニット所長、原貴司環境化学部長が同席した。

れている。

贈呈式は福島市の同大で行われ、東電の小野常務執行役福島第一廃炉推進カンパニー・プレジデント廃炉。

長、中山和夫福島第一原子力発電所ユニット所長、原貴司環境化学部長が同席した。